

## インド：日産自動車、チェナイに年産 40 万台規模の工場建設

三菱東京UFJ銀行  
アジア法人業務部

2月26日、日産自動車は、インド南部のタミル・ナドゥ州チェナイにおいて、3社共同で年産40万台規模の新工場を建設すると発表した。以下、進出概要とチェナイの自動車産業について記載する。

### 1. 日産自動車、ルノー、マヒンドラ&マヒンドラ、インド、チェナイにおける共同生産事業を発表 –インド最大規模の生産能力40万台の工場を建設–

日産自動車株式会社は、仏ルノー社、および印マヒンドラ&マヒンドラ社、とともに、タミル・ナドゥ州チェナイ市に新工場を建設し、乗用車、SUVを生産することを発表した。3社は同日タミル・ナドゥ州政府と覚書を交わした。

3社の投資額は今後7年間で400億ルピー（1,096億円）以上であり、車両工場、及びルノー・日産アライアンスによるパワートレイン工場を建設する。投資比率は、マヒンドラ&マヒンドラ50%、ルノー・日産50%。年間生産能力は、2009年後半の生産開始以降、7年間で40万台まで伸ばすことを予定している。チェナイは、南インドの東岸に位置し、自動車並びに自動車部品産業が発展している。港湾設備等のインフラや人材採用の環境が整っていることが、今回の工場建設地選定の決め手となった。今回の共同生産事業により、生産効率化を図るとともに、3社による共同購買にも取り組み、コスト削減を図る。

日産は、2004年に、SUVモデル「X-TRAIL」を投入し、インド市場へ参入。2005年には100%子会社であるインド日産を設立した。同社は日産ブランド車を現地生産することにより、需要が拡大するインド市場に本格的に参入する。さらに、輸出拠点としての可能性も検討中。なお、新工場では、同社がもつ生産技術を採用する。

ルノーは、同社がもつ開発技術、生産技術、そしてインドの顧客の要望を製品に反映する技術を提供する。

マヒンドラ&マヒンドラは、インド市場における高い経験値と長年培ったサプライヤーとの関係において、その知識を提供する。

注1： 為替レートについては最近の為替相場、1ルピー=2.74円を基に換算。

注2： マヒンドラ・グループ(Mahindra Group)について…売上高約40億米ドルのインドで上位10位に入る企業グループ。トラクター生産で世界のトップ5、インド国内ではMulti-Utility Vehicleに強みがある。

(以上、同社プレスリリースより)

## 2. チェナイの自動車産業について（タミル・ナドゥ州産業振興公社[SIPCOT]へのインタビューより）

- ・インドの各種工業生産に占めるタミル・ナドゥ州のシェアは、自動車 23%、商用車 (Heavy Commercial Vehicles) 33%、自動車部品 35%、鉄道車両 49%、綿糸 32%、製革能力 (Leather Tanning Capacity) 70%、ソフトウェア 18%、電動ポンプ 50%などの分野で高い。
- ・自動車分野では、フォード、現代自動車、HM（ヒンドスタン）三菱自動車のプロジェクトにより、チェナイはインドにおける「デトロイト」として浮上してきている。現代自動車は、当初 6 万台で生産を開始したが、27.5 万台から 40 万台に生産を拡大しようとしている。現代自動車は韓国からの生産シフトも考え、インドでの生産を拡大中。インド国内向けの販売に加え、EU にも輸出を計画中。

【チェナイの自動車産業】～インドのデトロイト		
完成車関連 (自動車に加え各種車両関連を含む)	現代自動車	生産能力を現在の27.5万台から40万台に拡大。チェナイを小型車輸出のハブとする。
	日産自動車、ルノー、マヒンドラ&マヒンドラ	40万台の生産能力の工場を建設(今回の発表分)。
	フォード	10万台の生産能力の工場を建設。
	Ashok Leyland	生産能力を現在の5万台から拡大。
	HM-三菱	ランサーの生産能力4.4万台の工場建設。
	TAFE	6万台のトラクター生産能力の工場建設。
	キャタピラー	ブルドーザー生産工場建設。
	エンフィールド、TVS	オートバイ生産。
	ICF	鉄道車両生産。
	Heavy Vehicles Factory	戦車生産。
	Tatra-Udyog	HCV生産。
BMW	完成車組立。	
部品関連	<p>インド全体の35%の自動車部品はタミル・ナドゥ州で生産されている。</p> <p>企業数： 約2,000の関連中小企業があり、大手では107社が生産。</p> <p>総投資額： 360億ルピー(約940億円)</p> <p>生産額： 12億ドル(約1,400億円)</p> <p>輸出額： 4.5億ドル(約540億円)</p> <p>従業員数： 45,000人</p>	
チェナイの自動車部品のインド国内におけるシェア		
シェア50%以上(19品目)	Inlet and exhaust valves, Valve guides, Valve tappets, Fuel pumps (petrol), Oil pump assembly, Thermostat, Timing chair. Water pump assembly, Starter motors, Alternators, Camshafts, Oil seals, Brake linings, Wiper motors, Air brake assembly, Engines	
シェア30～50%(10品目)	Fuel pump nozzle holders, Voltage regulations, Flywheel magnetos, Steering gears (mechanical & power), Wheel rims, Electric horns, Dashboard instruments	
シェア10～30%(17品目)	Fuel pump nozzle & elements, Delivery valves, Crankshafts, Bi-metal bearings, Fuel inj. Pumps, Radiators, Clutch plates, Clutch assembly, Shock absorbers, Automotive tyres, Automotive seats	
シェア10%未満	7品目	

(出所) SIPCOT資料、日産自動車資料より三菱東京UFJ銀行アジア法人業務部作成

《ご参考： インド工業団地関連レポート》

「AREA Report 124 インド工業団地事情 ～タミル・ナドゥ州チェナイ編：パート1～ 2007年1月31日」

(本レポートに関するお問合せ先： アジア法人業務部 北村広明)

E-mail: hiroaki\_kitamura@sg.mufg.jp

TEL: (シンガポール)65-62311786

※本レポートは情報の提供を目的に作成しておりますが、お取引の最終判断はお客様ご自身でお願いいたします。資料は信頼できると思われるソースを基に作成しておりますが完全性を保証するものではありません。

## 三菱東京UFJ銀行のインド拠点のご案内

インドでは、ニューデリー・ムンバイ・チェナイの3地域で支店を展開しています。

### 1. 所在地・連絡先など

(1) ニューデリー支店 (New Delhi Branch)	
①住所	・ Jeevan Vihar 3, Parliament Street, New Delhi 110001, India
②TEL 番号	・ 91-11-4100-3456
(2) ムンバイ支店 (Mumbai Branch)	
①住所	・ 15 <sup>th</sup> Floor Hoechst House, 193 Vinay K. Shah Marg, (Backbay Reclamation) Nariman Point, Mumbai 400021, India
②TEL 番号	・ 91-22-6669-3000
(3) チェナイ支店 (Chennai Branch)	
①住所	・ 6 <sup>th</sup> Floor, Venkataramana Centre, 563/2 Anna Salai, Teyanampet, Chennai, 600018, India
②TEL 番号	・ 91-44-2432-0034

### 2. 業務内容

ニューデリー支店、ムンバイ支店、チェナイ支店とも、フルバンキングライセンスを取得しており、預金、貸出、外国為替など、広範なサービスの提供が可能です。

#### 業務内容

(1) 預金業務 (BTMU-CMS サービス取扱可)	
①通貨	・ インドルピー、米ドル、日本円、ユーロ他
②口座種類	・ 当座預金、普通預金、定期預金、譲渡性預金 ・ 現地法人へ派遣されている方の個人口座も開設可能
(2) 貸出業務	
①通貨	・ インドルピーのみ
②貸出形態	・ 短期ローン、長期ローン共に取り扱い可能
(3) 外国為替業務	
取引種類	・ 輸出入、国内／外国送金、保証に関わる全ての業務
(4) デリバティブ	
①取引種類	・ 為替予約など
②通貨	・ インドルピー、米ドル、日本円、ユーロ他

□ は完成車メーカー

・ は部品メーカー等

- ・アルパイン、ダイフク、デンソー、スタンレー電気
- ・ニチアス、NTN、Panasonic Industrial Asia

チャンディガール(チャンディガール州)

・スワラジ・マツダ

ノイダ(ウッタール・ウラデーシュ州)

ホンダ:5万台生産。2007年度10万台に拡大予定。

- ・エクセディー、デンソー・インディア
- ・エイチワン、ケーヒン・パナルファ
- ・森六、住友電装・双日、住友電装
- ・テイ・エステック

グルガオン(ハリヤナ州)

デリー

スズキ

- ・旭硝子、ASTI、バンドー化学、デンソー
- ・FCC、ハイレックスコーポレーション、ユーシン、
- ・スタンレー電気、東海理化、JTEKT
- ・ミツバ、三菱電機、三井金属鉱業
- ・ショーワ、永田部品製造、日本特殊陶業
- ・日本発条、日本リークレス
- ・三菱マテリアル、ソミック石川
- ・スタンレー電気、三桜工業、

マネサル(ハリヤナ州)

スズキ:新工場稼働。当初10万台、2009年度30万台生産予定。

ダルヘラ(ハリヤナ州)

- ・スタンレー電気

パワル(ハリヤナ州)

- ・ケーヒン、武蔵精密工業
- ・三井金属

(ラジャスタン州)

ホンダ:新工場建設。年5万台生産予定。

ムンバイ(マハラシュトラ州)

- ・ブリジストン、豊田通商

ブナー(マハラシュトラ州)

- ・エンケイ、ケーヒン、スタンレー電気
- ・東洋ラヂエーター、矢崎総業、ユタカ技研
- ・東京部品工業、中央発條

ファリダバード(ハリヤナ州)

- ・サンデン

マラプール(マディヤ・プラデーシュ州)

- ・日本発条

デウス(マディヤ・プラデーシュ州)

- ・三桜工業

ダール(マディヤ・プラデーシュ州)

- ・ブリジストン

チェナイ(タミル・ナドゥ州)

日産:新工場建設。2009年後半生産開始。7年後40万台生産予定。

- ・大同メタル、五十嵐電気製作所、小糸製作所
- ・スタンレー電気、ミツバ、日本精工、ミクニ

バンガロール(カルナータカ州)

トヨタ

- ・アイシン精機、トヨタ紡織、デンソー、住友電装・双日、尾張精機、豊田鉄工、豊田通商、ニチリンサンライズ、矢崎総業、豊田合成、デンソーセールス

①ジャム・カシュミール

②パンジャブ

③ヒマチャル・プラデシュ

④ラジャスタン

⑤ハリヤナ

⑥デリー

⑦ウッタランチャル

⑧ウッタール・プラデシュ

⑨グジャラート

⑩マドヤ・プラデシュ

⑪チャッティスガール

⑫ビハール

⑬ジャーカンド

⑭シッキム

⑮西ベンガル

⑯アルナチャル・プラデシュ

⑰アッサム

⑱メガラヤ

⑲ナガランド

⑳マニプール

㉑トリプラ

㉒ミゾラム

㉓マハラシュトラ

㉔オリッサ

㉕ゴア

㉖カルナタカ

㉗アンドラヤ・プラデシュ

㉘ケララ

㉙タミル・ナドゥ

㉚ボンディチャリー

㉛ラクシャディープ

㉜アンダマン・ニコバル諸島